

教科（科目）	国語	学年（系）	3年
使用教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・国語3（光村図書） ・「現代の国語」（数研出版） ・「言語文化」（東京書籍） 		
副教材等	学習漢字ノート3年（浜島書店）／中学必修テキスト3年（文理）／積み上げ3年（明治図書）／「つまづかない！文法の学習」（新学社）／マイクリア3年（教育開発出版） 現代の国語 準拠ワーク（数研出版）／品詞別頻出漢字マスター3000（尚文出版） 精選言語文化 学習課題ノート（東京書籍）／改訂三版完全マスター古典文法（第一学習社）／新版完全マスター古典文法準拠ノート基礎固め（第一学習社）／完全頻度順入試対策ベストセレクション古文単語325改訂版（尚文出版）／三訂版 体系漢文（数研出版）		

1 学習目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 指導の重点

- ・自主的な学習習慣を確立させる。
- ・11月までに中学校の学習内容を確実に身につけ、高校入試問題に挑戦できるようにする。
- ・古典文法（特に用言の活用）を定着させる。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	1 深まる学びへ	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界はうつくしいと」 ・物語「握手」 	【知・技】 詩に用いられている語句や表現に着目して、効果を考える。 【知・技】 「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目して読む。 【思・判・表】 「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考える。	11	
		<ul style="list-style-type: none"> ・「学びて時に之を習ふ（論語）」 	【知・技】 歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しむ。 【思・判・表】 孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考える。		
6	2 視野を広げて	<ul style="list-style-type: none"> ・「作られた『物語』を超えて」 	【知・技】 ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。 【思・判・表】 原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉える。	10	中間考査
7	3 言葉とともに	<ul style="list-style-type: none"> ・「俳句の可能性」 ・俳句を味わう ・「言葉の釣り糸を 	【知・技】 俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりする。	12	

		垂らす」	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。 ・ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 		
9	4 状況の中で	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「挨拶」 ・ 「故郷」 	<p>【知・技】 比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめる。 <p>【知・技】 文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づく。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探る。 	12	
10	5 自らの考えを	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の意見を読んで、考えよう ー 正解がひとつに決まらない課題と向き合う 	<p>【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。</p> <p>【思・判・表】 文章を批判的に読み、文章にももの見方や考え方について考えることができる。</p> <p>【主体的】 読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。</p>	8	期末考査
11	6 いにしえの心を受け継ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典「和歌の世界」 ・ 古今和歌集仮名序 ・ 古文「君待つと」 ・ 古文「夏草」 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用する。 <p>【思・判・表】 心情や情景など、古典作品の表現方法などについて自分の考えをもつ。</p>	12	中間考査
12	7 価値を生み出す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「それでも、言葉を」 	<p>【知・技】 抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読む。</p> <p>【思・判・表】 文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめる。</p>	7	
1	8 未来へ向かって	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「温かいスープ」 ・ 「アラスカとの出会い」 	<p>【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。</p> <p>【思・判・表】 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。</p> <p>【主体的】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、思いや考えを伝え合おうとする。</p>	7	

2		<ul style="list-style-type: none"> ・「律儀な桜」 ・「わたしを束ねないで」 	【思・判・表】 ・随筆や詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ・詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	8	期末考査
3		<ul style="list-style-type: none"> ・三年間の歩みを振り返ろう ・「初日」 	【知・技】 話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 【思・判・表】 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	8	
	高校古典	<ul style="list-style-type: none"> ・古典文法の基礎 	・古典語（動詞）の活用の種類、活用形について理解する。		

計 105時間(48分授業)

4 課題・提出物等

- ・平日の課題…小テスト・朝テストに向けた漢字練習、問題演習等
- ・週末の課題…問題演習、書写、作文等

5 評価規準と評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・考査および小テストの漢字や文法など言語に関する問題の達成状況 ・考査および小テストの「知識」に関する問題の達成状況 ・長期休業明けの課題テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・考査および小テストの「読むこと」に関する問題の達成状況 ・考査および小テストの「書くこと」に関する問題の達成状況 ・聞き取りテストの達成状況 ・授業での表現に関する活動（話し合い活動、発表等）の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況 ・課題の提出率 ・小テストの達成状況 ・授業での表現に関する活動（話し合い活動、発表等）への取り組み方 	<評定> 達成率（各観点の合計点に対して） 5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
各観点は達成率に応じて3段階で評価する。 A 十分に満足できる … 70%以上 B おおむね満足できる … 40%以上 C 努力を要する … 40%未満			

6 担当者からの一言

2年生までの授業以上に、1回1回の授業の密度が濃いものになります。授業の内容をきちんと理解することに加え、自分の考えを適切に表現できることを求めます。古典文法は、授業への取り組みだけでなく、家庭学習の中で分からなかったこと、不思議に思ったことについて、積極的に質問に来てください。お待ちしております！
 (担当: 齋藤 丈、吉澤 梨湖)